

地域一斉清掃で側溝整備 排水機能の向上と美化を両立



5月10日、草薙奥自治会の主催により、地域一斉側溝清掃が実施された。

今回の清掃活動では、道路沿いの側溝に堆積した土砂やゴミの除去をはじめ、道端に繁茂した雑草の刈り取りも合わせて行われた。これにより、地区全体の美観が向上したほか、排水機能の回復によって大雨時の浸水リスク軽減など、防災面での効果も期待される。

また、天皇原公園では長らく停止していた時計の修理が完了し、このほど正常に稼働を再開した。公園で遊ぶ子どもたちが時刻を確認できるようになり、帰宅時間が遅くなるといった心配も解消されそうだと、保護者からも安堵の声が上がっている。

草薙奥自治会では、こうした地域一斉清掃を年に一度実施しており、住民が力を合わせて暮らしの安全と環境維持に取り組んでいる。

～読者の皆さまへ～

「うちにもこんな花が咲いています」「この花を紹介してほしい」など、ご意見・ご要望がございましたら、ぜひ草薙奥新聞までお寄せください。皆さまからの情報をお待ちしております。

uematu891@gmail.com

LINEとInstagramで最新情報を発信中！
QRコードからぜひご登録ください。



彩り豊かな初夏の花々 草薙奥いま見頃



梅雨の季節を迎えた草薙奥では、各所で色とりどりの花々が咲き誇り、地域に鮮やかな彩りを添えている。

なかでも目を引くのは、淡青紫色の紫陽花。雨に濡れた花房がひととき艶やかさを増し、この時期ならではの風情を醸し出している。

その傍らでは、真っ赤な炎を思わせるような立葵（タチアオイ）が天へ向かって凛々しくそびえ、鮮やかな黄色の百合が明るい彩りを添えている。

さらに、端正な佇まいの花菖蒲も見事に開花。柏の葉に似た大ぶりの葉が特徴的な**柏葉紫陽花（カシワバアジサイ）**も白い花穂を誇らしげに広げ、初夏の草薙奥を彩っている。

散策の際には、ぜひ足を止めて季節の花々をお楽しみください